

# 関西校友会開催される

秋晴れの清々しい十一月十六日、平成二十五年度関西校友会が、いかりスーパーマーケット四階ライクスホールにて開催された。

井上理事長、原田校友会会長をはじめ、母校に野球場を寄贈された原田常司氏も特別来賓として招待された。興讓館高校からは、堂野事務局長、沖久教諭、青江有信会役員が出席し、総勢四六名の参加となりました。



関西校友会は寺地事務局長の開会により十一時に始まりました。池田会長からは次期会長を寺地氏に交代する旨の説明があり、参加者に承諾を得ました。井上理事長、原田校友会会長挨拶の後、原田常司氏から野球増寄贈の想いを篤く語っていただきました。また、堂野法人事務局長からは、百六十周年記念事業報告とお礼が述べられました。



(白鹿洞書院掲示を唱和する田口氏)



(行光顧問乾杯の挨拶)



(堂野法人事務局長挨拶)



(原田校友会会長挨拶)



(井上理事長挨拶)



(池田会長挨拶)



(寺地事務局長挨拶)



(三十七年卒篠原氏によるハーモニカ演奏)

懇親会は行光顧問の乾杯によりスタートし、一年ぶりの再会や、近年の生徒の様子、女子陸上部の活躍の話が弾みました。

一言メッセージでは、校友の皆さんの近況報告があり、母校を想う気持ちが改めて確認されました。

さらに、三十七年卒の篠原氏によるハーモニカ演奏、ビンゴゲーム、突然のリクエストに興讓館から参加の三名が「花は咲く」を大熱唱するなど、大変に楽しい時間となりました。



(野球場寄贈の想いを語る原田常司氏)

最後に恒例の校歌を全員で斉唱しました。皆様のご健康と興讓館の更なる発展を願い、また、十二月の女子全国高校駅伝、西京極での再会を約束し平成二十五年度関西校友会が閉会となりました。

準備をしてくださいました、関西校友会の皆様、大変お世話になりました。



(「花は咲く」を大熱唱する三人) 【中央・有信会役員の青江さん】